日本貨物鉄道労働組合　中央本部組織部 http://www.jrfu.net/

組織部速報

２０２４年１１月７日
Ｎｏ．１１

2024年度年末手当交渉

第3回交渉（会社の考え方）を行なう！

中央本部は本日、第３回交渉を行ない、会社は現時点の考え方を示しました。

- 要員需給が厳しい中で、臨時列車の運転や異常時対応など社員の皆さんの尽力・協力に感謝を申し上げる。
- 年末手当に生活給の要素があることは否定しないが、基本的には業績給と考えており「上半期の業績・直近の動向・社員の頑張り」を踏まえて判断していく。
- 輪軸問題は自然災害ではなく当社が起こした事象であり、本社・支社・現場が一体となって信頼回復に努めていく。
- 現時点の考え方としては、今年の夏季手当と同程度をめざしていく。

中央本部は会社の考え方に対し、以下の通り指摘し、主張しました。

- 計画を達成させることは経営陣の責任である。職場では計画達成にむけて昼夜を問わず安全・安定輸送を担っており、業績を理由に手当を抑制することは許さない。
- 組合員の不安を払拭し、ＪＲ貨物が社会的使命を発揮して、計画達成していくため、我々の要求に応えていく決意を示すべきである。
- 会社の認識とは大きな乖離がある。再度社内で議論し、誠意を示すべきである。

第3回交渉→ 山場の闘い → 第4回交渉（回答指定日）

☆組合員と交渉状況を共有し、本社へのFAX行動を展開しよう！
☆11・11全国統一職場集会に結集しよう！
☆各職場から現場長要請行動を展開しよう！
☆座談会・常駐体制などを精力的に展開し、組織一丸となって闘おう！

会社の手当抑制姿勢を突き崩す闘いを職場から創りだそう！！

次回、第４回交渉（回答指定日）は１１月１４日（木）です。